

(2023) 年度

児童館事業年間活動報告書

(常磐野) 児童館

	活動名	実施回数	参加人数								合計	内 容	成 果 と 課 題					
			乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生	大人	ボランティア								
				自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中高生				大学生	大人			
子 ど も 育 成	(2) 遊びの教室活動																	
	工作	18	4	20	261	6	13							304	ブラバンキーホルダー、スライム、平面キュービック、消えるイラストなど様々な工作を体験する。手先を使い細かい作業をしたり、手間のかかることを楽しみながらすることで集中力を養う。	ブラバンキーホルダーやスライムは人気が高く参加も多かった。自由来館児が少ないため、じどうかんニュースに写真を掲載するなど工夫して集客に努めた。		
	トランポリンの日	24		6	441	2	14							463	月2回実施。大型のトランポリンで遊ぶ。安全面に配慮しながら順に一人ずつ跳ぶ。	月2回と回数に限られているが、普段できないあそびの1つとして楽しみにしているため、継続していきたい。		
	みんなあつまれ♪あそびの日	12	13	4	5				14					36	毎月土曜日に2回不定期で実施。カプラブロックやブラレールで自由にあそぶ。	ブラレールもカプラも参加人数が少ないため、広報に力を入れて参加人数を増やしていく必要がある。ブラレールとカプラだけでなく、他のあそびの検討しても良いのかもしれない。		
	オセロ・将棋道場	12		15	215		4				18			252	オセロ・将棋のやりたい方を自分で選択し、いろんな人と対戦する。オセロと将棋を気軽にふれあい楽しめる場として取り組む。	今冬から地域の方が将棋を教えに来てくださっている。得意な子だけでなく、初めての子にも丁寧に教えてくださることで、オセロ将棋道場が活気づいていった。自由来館の子の参加も多く、今後も広報など行い、たくさんのごもたちに参加してもらいたい。		
	アフター5は卓球タイム						3							3	中高生を対象に午後6時以降の時間、遊戯室にて卓球を楽しむ。	ほとんど利用がなかった。中高生が気軽に来館できるような取り組みを考えていきたい。		
	(4) クラブ活動																	
	小学生クラブ説明会	1	1	18	1	13			6						39	小学生クラブ（工作・実験クラブ、はんどめいどクラブ、あそびクラブ、ドッジボールクラブ）に参加を希望する児童を対象に、各クラブの目的、内容、運営などについての説明を行う。	クラブの内容をきちんと説明することができた。今後も人数が少ないクラブについては、じどうかんニュースで再度案内したり、こども同士誘い合って参加してもらえよう声をかけていきたい。	
	工作・実験クラブ	36		55	55										110	3年生以上を対象に週1回実施。身近な素材を利用した工作や実験をする。	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、今年度も人気のある食べ物を扱う実験は実施しなかった。しかしそうした中でも、こどもたちの要望を積極的に取り入れ、主体的・意欲的に取り組める活動を行った。	
	はんどめいどクラブ	36		59	73										132	3年生以上を対象に、週1回実施。手芸やクラフトなど工作・実験クラブとは違ったてづくりの作品に挑戦し、生活にも役立てられるようにする。	こどもたちの要望を取り入れながら行うことで、和気あいあいとした雰囲気のもと楽しんで実施できた。また針が怖いといった声もあったため、前半はビーズアクセサリー、くるみボタン、マフラーなどを作り、慣れた後半でマットや巾着を裁縫を行った。今後もこどもたちの声を大事にしていきたい。人数が少なかったため、広報の仕方などを工夫する必要がある。	
	あそびクラブ	19													0		年度初めだけでなく、年度途中にも数回じどうかんニュースで募集の案内を掲載したが利用者は集まらなかった。	
	ドッジボールクラブ	19		292	3	166									461	小学生を対象に、月2回実施。右京ブロック交流行事ドッジボール交流会に向けて技術向上とゲームワークをふかめる目的でドッジボールを行う。	低学年も高学年も定員を超える募集があり、多くのこどもたちが参加した。出席率も高く、「勝りたい、上手になりたい」といった意欲も見られた。技術面を磨くために、職員も技術向上を目指す必要がある。	
	(3) 行事活動																	
	館内オセロ・将棋大会	2		5	6	4	1								16	リーグ形式で対戦。入賞者は賞状と小さいトロフィーがもらえる。	学童クラブ・自由来館ともに参加があった。日頃の成果を発揮し、自然とした試合を行うことができた。賞状やトロフィーがやる気に繋がっているため、今後も用意していきたい。また日頃から遊びを盛り上げ、大会参加に繋げたい。	
館内マンカラ大会	2		3	10	1	1								15	総当たり戦で対戦。入賞者は賞状と小さいトロフィーがもらえる。	学童クラブ・自由来館ともに参加があった。性別・学年は様々であったが、互いに気を抜くことなく入賞に向けて一生懸命戦ったことができた。日頃の遊びが大会にも結びつきたため、普段からたくさんの子たちに広めて盛り上げていきたい。		
館外行事 琵琶湖博物館説明会	1	1	4	3				2						10	館外行事参加を希望する児童に対し、目的や日時、持ち物について説明する。	丁寧に説明を行うことができた。		
館外行事 琵琶湖博物館	1		4	61	5	3								73	館外行事として、学童クラブと琵琶湖博物館に行く。	学童クラブと自由来館の子と同じ班で館内を見学した。見学を楽しむだけでなく、こども同士の交流の場にもなり夏の思い出の一つとなった。今後も館外行事を実施し、様々な経験の機会を提供していきたい。		

機 能	納涼まつりスタッフ	10				41								41	4年生以上対象。納涼まつりに向けて子どもコナナの準備から当日のコナナ運営まで取り組む。	子どもたちの思いを大切にすすめていくことで、準備も当日も楽しんで取り組むことができた。また納涼まつりに参加される方々が楽しそうに参加される様子を実際に見ることで、達成感が繋がった。子ども同士の仲も深まった。
	納涼まつりスタッフおつかれさま会	1				6								6	スタッフが集まって反省会。アンケートを記入、おやつを渡す。	反省会後は、当日体験できなかったコーナーや自分たちが企画したコーナーをみんなで楽しんだ。クリスマス会のスタッフもしたいといった声も上がっていた。
	サントクラブ	8				55								55	4年生以上対象。クリスマス会に向けて子どもコーナーや看板の準備や当日のコーナー運営、司会進行などを行う。	昨年度に続き、子ども同士で話し合い、たくさんの子が参加してくれた。子どもたちが主となって話し合いや準備、当日の進行を行うことができた。「楽しかった、来年もしたい」という声があがっていた。
	サントクラブおつかれさま会	1				10								10	サントクラブで集まって反省会。アンケートを記入、みんなであそんで最後におやつとプレゼントを渡す。	子どもたちに参加できる日程を確認したことで、ほとんどが参加できた。和やかな雰囲気での実施できた。
	(5) 地域間交流促進活動															
	右京ブロックあそびの交流会予選会	1		5		3								8	右京ブロックあそび交流会の出場者を選出後、練習をする。	学童クラブ・自由来館の子とも参加があった。あそび交流会に出たいと意気込んで参加する子もおり、予選会であったが盛り上がる試合になった。大会後の空いた時間であそびの交流会に向けた交流戦を行い、技術の向上に努めた。
	右京ブロックあそびの交流会	1		4		1								5	右京ブロック内の児童館交流行事。	試合だけでなく交流戦も楽しんで参加していた。オセロの部では常盤野児童館から参加した子が優勝し、一緒に参加した子の意欲に繋がった。
	右京ブロックドッジボール交流会説明会	1		18		8								26	右京ブロックドッジボール交流会の参加希望児童に対し、日時や持ち物などを説明する。	早めに案内していたことで、多くの子が参加できた。
	右京ブロックドッジボール交流会	1		14	5	8	1							28	右京ブロック内の児童館交流行事。	日頃の成果を発揮し、低学年は準備することができた。高学年はほとんどの試合で負け落ち込む様子も見られたが、次の意欲にも繋がった。技術向上に向けて練習方法などを見直したい。
	(6) 障がいのある児童の居場所づくりと活動への参加促進 障がいのある児童の自由遊び													0	障がいのある児童の自由活動の場として、利用してもらう。他の児童との交流にもつなげる。	今年度は利用がなかった。介助者または保護者と一緒に来てもらう、居場所として利用してもらえよう広報していく必要がある。
合 計	207	19	526	1008	460	37	3	22	0	0	18	2093				
推 進 活 動																
合 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
子ども育成機能 合 計	207	19	526	1008	460	37	3	22	0	0	18	2093				

*注 基本活動は、指針に基づき(2)遊びの教室活動(3)行事活動(4)クラブ活動(5)地域間交流促進活動(6)障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進(7)思春期児童の活動支援に分類して記入すること。
 推進活動は、指針に基づき(9)地域を知る活動(10)移動児童館活動に分類して記入すること。
 指定活動は、指定児童館のみ別途報告すること。

(2023) 年度 児童館事業年間活動報告書 (常磐野) 児童館

	活動名	実施回数	参加人数										内 容	成果と課題		
			乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生	大人	ボランティア					合計	
				自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中高生	大学生	大人				
子 ど も 家 庭 支 援 活 動	※ (1) 乳幼児とその保護者を対象とする活動															
	①乳幼児クラブ説明会	3	25										48	(1) 幼児クラブに参加を希望する保護者を対象に、クラブの目的や内容、運営などについての説明を行う。	全体で説明するだけでなく、個々の質問にも丁寧に対応することができた。職員と保護者だけでなく、親子同士の顔合わせの機会にもなり良かった。	
	①乳幼児クラブ	112	1055			60							2087	週9回実施。生後8か月までのお子さん対象のリサクラブ、8か月～1歳までのお子さん対象のひよこクラブ、1歳以上対象のくまクラブ3つに分かれて活動している。職員による手遊びや絵本に加えて、七夕、クリスマス会、季節の行事や小麦粉粘土、新聞紙遊び、簡単な工作を行っている。くまクラブは保護者が企画から当日の運営までを行う「にこにこママの日」を年1回だけ、保護者がクラブに積極的に関わっていただけるようにしている。また、乳幼児クラブが合同で実施できる活動も実施しており、月齢を超えた交流の機会を設けている。	どのクラブも月が進むにつれて人数が増えていった。コロナ禍で保護者同士の交流の場や遊ぶ機会が減っていたこともあり、そうしてクラブがあることが有難いといった声があがっていた。また季節の行事や小麦粉粘土、新聞紙遊びなど、なかなか家庭ではできない活動についても好評だった。クラブを通して職員との関係ができて、子育てや入園の相談をされる方も多くおられた。	
	乳幼児クラブ体験会	2	16										32			
	わらべうたベビーマッサージ	2	16										33	乳児と保護者を対象に実施。講師の先生を呼び、お家ででもできるベビーマッサージを教えた。	昨年同様、同じ先生に依頼し実施した。母子ともに好評で、年2回続けて参加される方もおられた。次年度も同じ先生で実施したい。乳幼児クラブだけでなくあそびの広場、機関紙などで広報し集客に努めたい。	
	子育て講座～離乳食について～	2	5										7	12	乳幼児親子対象に実施。管理栄養士さんにきていただき、離乳食について講座をしていただく。	パワーポイントを使っての細やかな説明、個々の質疑応答への丁寧な対応により保護者の不安や疑問が解消され、満足して帰られていた。民生委員の方にチラシの配布を依頼したり、親子が集まる場で積極的に案内することで多くの申し込みがあったが、当日の体調不良や失念でキャンセルが目立った。今後も実施時期や広報の仕方を工夫し集客に努めたい。来年度も同じ先生に依頼する予定。
	子育て講座～おしえて！保健師さん～	2	11										15	26	保健師の方からよく相談がある内容からテーマを決め、テーマにそった子育て講座を保健師さんにしていただく。今年度は保健師さんにトイレトレーニング、乳幼児期のこどもにかかりやすい病気とその対応についてお話しいただいた。	保健師の方の丁寧な説明や和やかな雰囲気、保育の実施などもあり満足いただける時間となった。今後も多くの方に参加いただけるよう、保護者の方の悩みや興味を聞きながらテーマを決定していきたい。
	児童館であそぼうday	2	11										10	21	児童館のお庭または渡り廊下でシャボン玉や砂場あそび、水あそびをする。遊戯室にはトランプなどの大型遊具やおもちゃを準備。	気温が高く外あそびは行っていないが、室内の涼しい環境での親子同士の交流、遊具あそびを楽しんでいた。今後も外遊びを行う場合は、熱中症対策として簡易シャドの設置、水分補給・休息の声かけを行っていく必要がある。
	②乳幼児あそびの広場	102	506										491	997	②週3回実施。乳幼児用の遊具を設置し、自由にあそべるスペースを設ける。	天候により参加人数にばらつきはあったものの、年間を通してたくさんの親子が参加してくださった。新しい玩具や遊具の導入だけでなく、保護者向けの本の設置や過ごしやすいスペース作り、親子へのこまめな声かけが集客に繋がったと思われる。今後も親子のあそびの場、保護者同士の交流の場として活用していただけるよう広報していきたい。
	パパもおいでよ♪あそびの広場	24	103										97	200	②毎月土曜日に2回不定期で実施。乳幼児用の遊具を設置し、自由にあそべるスペースを設ける。お父さんにも利用してもらえるように土曜日に設定。	お父さんとお子さん、ご夫婦そろっての参加が多く見られた。お父さん同士の交流の場にもなるよう広報していきたい。
身体測定～おおきなあれ♪～	22	84										95	179	毎月第1・第3水曜日に実施。身体測定カードを配布し毎月の子どもの成長を記録できるようにする。	身体測定を目的に、新生児頃から来られる親子が数多くおられた。計測時にコミュニケーションを図ることで成長を喜び合ったり、寂しさに寄り添う機会も多かった。身体測定が児童館と繋がるきっかけにもなり得るため、今後も広報を工夫しながら取り組んでいきたい。	
合 計		273	1832	0	0	60	0	0	0	0	0	0	0	3635		
(3)子育て家庭相談・援助活動	子どもの年齢	件数	受 理 及 び 相 談 経 路				件数	相 談 内 容				件数	つないだ機関等		件数	
	乳児 幼児 小1～3年(自由来館) 小1～3年(学童) 小4～6年(自由来館) 小4～6年(学童) 中学生 高校生	2	児童館にて直接受理 児童相談所 保健所 子ども支援センター 主任児童委員 その他 }				2	健全育成問題 家庭養育問題 成長・発達問題 教育問題 非行・問題行動 その他 }				2	児童相談所 保健所 子ども支援センター 幼稚園・保育園 小学校 中学校 総合支援学校 その他 { 児童館学童連盟 }		1	
	件数 計	2	-				2	-				2	-		1	
(4)子育てグループを育成・支援する活動	グループ名	構成人数	活 動 内 容				育 成 ・ 支 援 内 容				成 果 と 課 題					

推進活動	(5)子育てと健全育成に関する啓発活動	活動名	実施回数	活動内容	成果と課題

※注 基本活動は、指針に基づき(1)乳幼児とその保護者を対象とする活動[①乳幼児クラブ活動 ②乳幼児の広場活動] (2) 家族参加を促す活動に分類して記入すること。

地域福祉	基本	活動名	実施回数	主催	参加人数						連携団体	成果と課題		
					乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生			大人	合計
						自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ					
(1) 地域住民との交流を促進する活動	納涼まつり	1	常磐野児童館	49	14	58	9	3	37	53	223	学童クラブ保護者会 常磐野消防分団 盛岡野高校吹奏楽部	学童クラブの保護者や消防分団の方、盛岡野高校の吹奏楽部の方、楽団スタッフの子どもたち協力しながら楽しい行事を実施することができた。参加者も多く、賑わっていた。	
	クリスマス会	1	常磐野児童館	37	14	66	17	3		83	220	学童クラブ保護者会	学童クラブの子どもたちによるステージ発表、クリスマス工作、サンタクラブによるじゃんけん列車、プレゼント渡しを行った。観覧人数に制限を持たないことや自由来館の参加人数の幅を増やしたことで、たくさんの参加があり、非常に盛り上がった。	
	親子防災訓練	1	常磐野児童館	7	22	1	7			21	58	常磐野消防分団 右京消防署	たくさんの方が参加してくださった。今後も消防分団の方や消防署の方と連携しながら実施していきたい。	
	お茶の会	1	常磐野児童館	1		5				7	13	地域女性会区社協 民生児童委員協議会	親子でお茶をたしなみながら、礼儀作法も学び、普段なかなか体験することができないことを経験できた。地域の方との交流も兼ねているため、たくさんの方に参加していただきたい。広報に力を入れた。	
	じどうかんDE子育てサロン	12	民生児童委員協議会 常磐野児童館	103			30				159	292	民生児童委員協議会	民生児童委員協議会の方々が保護者やお子さんに優しく細やかな対応をしてくださることで、回を増すごとに参加人数が増えていった。民生児童委員協議会の方の工作だけでなく、職員も手遊びや歌の歌合をさせていただくことで楽しい場を作ることができた。今後も連携しながら継続して行っていく。
	合計	16	—	197	50	130	63	6	37	323	806			
促進	機	活動内容			活動人数				成果と課題					
		おはなし広場			中学生	大学生	大人	合計	『京都おはなしを語る会』のボランティアの方に毎月1回来ていただくことで、子どもたちがいつもとは違う色々なお話を聞くことができる良い機会となっている。素話を聞くことで、子どもの想像力にも繋がっている。また、職員にとっても話し方や表情の使い方の勉強になった。					
							30	30						
合計					30	30								
能	(3) 地域との連携を促進する活動	連携団体等	連携内容						成果と課題					
		常磐野消防分団 右京消防署	防災に対して児童館と地域が一体になって取り組んでいけるよう防災訓練を行う。						避難訓練だけでなく、消火器の使い方や体験したり消防車に乗ったりしながら火事や災害について学ぶことができた。今後も消防分団の方や消防署の方と連携しながら実施していきたい。					

地域福祉促進機能	基本活動	(4) 児童館を支える地域組織作り	組織名称		構成団体・個人		会議/取組頻度	議題/取組内容	成果と課題
			常磐野児童館運営協力会		常磐野主任児童委員 常磐野自治連合会 常磐野民生児童委員協議会 常磐野小学校校長 常磐野小学校PTA 常磐野学区社会福祉協議会 少年補導委員会 常磐野支部 常磐野交通安全推進会 常磐野地域女性会 蜂ヶ岡中学校学校運営協議会 防犯推進委員会 常磐野支部		年3回	児童館に関する基本的な諸問題について	児童館の在り方について、地域の方にも知ってもらい、今後も連携を深めていきたい。
	(5) 地域への施設提供	会場提供・備品貸出等		使用目的		提供先(団体・機関等)		成果と課題	
ワイヤレス ワイヤレス ワイヤレス ワイヤレス ワイヤレス		餅つき大会 夏まつり 地藏盆 体育活動 行事		少年補導委員会 少年補導委員会 町内会 体育振興委員会 夢窓幼稚園		館の備品を貸し出すことをきっかけに、館との関わりを持ってもらい、今後の活動にご協力いただけるような関係となれるよう努める。			
(6) 地域調査活動	調査名		調査目的	調査対象	調査主体	調査方法	成果と課題		

(2023) 年度

児童館事業年間活動報告書

(常磐野) 児童館

	広報物の種類	発行頻度	広報対象	広報方法	広報内容	成果と課題
広 報 活 動	児童館ニュース	月1回	児童と保護者 地域住民	小学校で全校配布 乳幼児クラブにて配布 児童館入り口に設置 保健福祉センターへ郵送 宏量福祉社会役員へ郵送 ネットワーク会議メンバーへ郵送 地域への回覧	月々の行事日程や内容の広報、先月の行事の報告等	地域回覧や小学校での全校配布により、乳幼児親子の利用や小学生の行事への参加に繋がっていた。
	児童館お知らせ	随時	児童と保護者	小学校で対象学年に配布	行事やクラブ活動についての詳細を参加者募集の呼びかけ	今年度も小学生クラブ、納涼スタッフ、サンタクラブ、館外行事へのたくさんの参加が見られた。児童館ニュースに掲載するよりも個別に配布の方が目に止まりやすいこともあるため、募集の内容によっては個別に配布していきたい。
	ポスター	月1回	児童と保護者 地域住民	小学校正門、東門の掲示板へ貼る	月々の行事日程や内容等	掲示物の上から透明な袋をかぶせて保護したり、天気予報を確認して一度取り外したりして雨や風の対策を行った。登下校のこともたちの目につく場所にあり、取り組みの情報を知る・再確認するきっかけとなっている。
	日程掲示 (パパ広場・身体測定)	月1回	乳幼児の保護者	小学校正門掲示板へ貼る	月々の日程	今年度も偶然通りかかった親子が、掲示板を目にして来館して下さることがあった。雨風に影響しないようラミネートして掲示することで、綺麗な状態を保つことができた。
	乳幼児利用案内	毎年更新	乳幼児の保護者	乳幼児クラブで配布 児童館入り口に設置 来館親子への配布	乳幼児とその保護者の児童館利用についての説明	新規の方へ利用案内を配布することでクラブへの登録や行事の参加に繋がった。今後も手に取りやすい場所に置き、補充を定期的に行っていく。
	児童館ホームページ	毎月更新	児童と保護者 地域住民 乳幼児の保護者	インターネットでの情報公開	おたよりの掲載、月々の行事日程や内容等	こまめに更新することができた。また、ホームページを見て児童館を知り、来てくださる方が増えた。

(2023) 年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(常 磐 野) 児 童 館 ・ 学 童 保 育 所

	活動の基本目標 (指針)	主 な 取 組 名	成 果 と 課 題
生活援助機能	安全・衛生の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶・基本的な生活習慣の確立 	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもたちのロッカーの使い方や片付け方は、学童の生活の基本として定着してきている。新入所のこどもたちも2年生以上の片付け方を見て覚えたり、時には職員が付いて教えることで、片付けができるようになる。やらない子や、できずに困っている子には、その都度個別に声かけや働きかけが必要である。 ・おもちゃや児童館の物は、使う前や後に職員に声をかけ、自分たちで数を数えたり元の場所に片付けるよう伝えている。使用後の片付けができていなかったり、壊れてしまった物やなくした物を伝えに来ない時には、使っていたこどもたちに話をし、全体にも伝えている。仲間との共同生活の中で、みんなで使う物が使えなくなってしまうと他の人が困ることや、一人ひとりが意識して物を大切にすることを伝えることで、使い方や片付け方について、こども同士で確認し合ったり注意し合えるようになってきている。
	健康の管理・情緒の安定	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗い、うがい、消毒の励行 ・各自の手拭きタオル使用 	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗いうがいは平日頃から取り組んできた。外から帰った時、トイレの後、食事、おやつ前には必ず手洗いをし、食事前には消毒を徹底した。全体に伝える事や、個々に伝える事、保護者にも学童の状況を話し、家庭でも声をかけてもらうようにしてきた。繰り返し伝える事がまだまだ必要な状況である。手を拭くタオルはどうして忘れてはいけないのかという事と自分で用意をする事も合わせて伝える。忘れてくるこどもは決まってきている。
	基本的な生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・当番活動 ・清掃活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、年度途中まで感染症対策のためおやつやお弁当は、スクール形式で食べた。新型コロナウイルスが5類になってからは、班ごとに机を合わせて食べることができた。おやつは、個々に取りに行っていたが、班のリーダーや副リーダーが配膳する形に戻っていった。掃除時間のお皿洗いの当番は今年度も行うことはできなかった。その分、掃除では週ごとに変わる担当場所を、リーダー・副リーダーが掃き掃除やゴミ拾いなどに振り分け、班で手分けをしてあたる。窓や棚の拭き掃除を新たに増やし、班の人数が多い中でも役割が分散するようになった。
	社会生活技術の獲得	<ul style="list-style-type: none"> ・片付け 	
子ども育成機能	生活体験の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・班活動、班での取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・班会議 ・当番活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して、2年生以上の帰りが遅い等で、皆が揃わないことも多い状況。その中でも時間を見つけてリーダーを中心に班活動を行ってきた。 ・班会議では、1年生は始めの頃は自分から話ができることは少ないが、1年間での班会議の中で、リーダーや副リーダーに意見や気持ちを聞かれる経験を通して、自分の思いをみんなの前で伝えられるまでになる。班としての意見をまとめる際には、自分の思いを伝えるだけでなく、相手の意見も尊重することの大切さを知り、仲間と協力し考えられるようになってきている。
	社会性の養成	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなあそび ・クリスマス会（出し物等） ・入所式、修了式 ・夏休みの課題 けん玉練習、けん玉検定 ・誕生日メッセージ作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・班での取り組みとしては、みんなあそびを通して、仲間同士協力する気持ちや集団でのあそびを楽しみを持てるようにしていった。 ・下の学年の面倒も見ることが出来、2年生以上は職員に言われなくても考えて行動できるようになってきている。けん玉検定に向けての練習やクリスマス会の出し物練習では、3.4.5年生の姿に影響され他学年も積極的に参加し、練習も途中で投げ出すことなく集中して取り組んでいた。特に1年生はあこがれの存在になっていた。 ・班の仲間の誕生日には、班のこどもたちからのメッセージを手紙にして送る。メッセージの内容は、その子の特徴や好きなこと、遊び等を書くことが多い。班によっては相手の良いところ等書くことが出来る班と、メッセージが毎回同じような言葉になってしまっている班がある。メッセージを書く時間をしっかり作っていく事と、こどもたちの関係作りをしっかりと出来る様に、遊びや班活動を通してその子の事を知る機会を工夫する事が必要になっている。
	自立の促進と自主性の尊重		
子育て	子育てに必要な情報の提供と交換	<ul style="list-style-type: none"> ・おたより・おやつメニュー表発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・月初めにこどもたちの様子を載せたおたより『このゆびとーまれ』を発行。おやつメニュー表は月2回発行。アレルギーを持つこどもの家庭へはメニュー表を2枚配付、食べられない物には印を付けて返却をしてもらい、代替食を出す等の配慮を行う。 ・お便りやお知らせについては、文章の構成や、見やすさや理解しやすさ考慮し、書き方を慎重に考え、職員間でも確認を行う。

<p>子育て支援機能</p>	<p>子育ての仲間づくり</p> <p>子育てを支えるネットワーク</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・懇談会（全体懇談会、個人懇談会） ・小学校の先生との連携 ・保護者参加行事（親睦会、納涼祭り、親子お茶会等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・懇談会を年4回と個人懇談も9月の土曜日を実施。お便りだけでは伝えきれないことを職員間でまとめ、懇談会で伝えている。保護者からも学校・家庭での様子や、学童への要望等を聞き、子どもたちの今の姿を保護者と職員でお互いに共有できるように心がけた。また職員間でも共有を行った。懇談会終了後、不参加の家庭には、内容をまとめた報告書を配布。 ・学童の気になるこどもの様子をこちらから訪ねて行ったり、担任が来られて話をする事もでき、お互いが知らない情報を多く共有・共通理解することができた。個人情報保護の観点には十分注意が必要であることは忘れてはいけない。 ・行事に参加する保護者が多く、交流の場となった。行事によっては、参加する保護者が決まってきたこともあり、より多くの保護者に参加を呼びかける工夫が必要である。今後も、保護者が繋がることで子どもへの理解や、悩み等を共有できる事を伝えていく。
----------------	---------------------------------------	---	--

(2023) 年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(常 磐 野) 児 童 館 ・ 学 童 保 育 所

行事名	実施回数	学童クラブ児童						登録外児童		ボランティア			その他	合 計	内 容	
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1～3年	4～6年	中高生	大学生	大人				
1) 生活援助機能																
リーダー・副リーダー会議	8		6	38										44	44	班の代表としての活動、運営、仲間との関わりについて話し合う。
班会議	4	66	40	26	4	2								138	138	班の活動や学童生活の問題、行事への参加方法について話し合う。
クリスマス会出し物決め	5	89	62	26	7	2								186	186	クリスマス会で行う出し物を班で話し合って決める。
年末・年度末大掃除	1	20	15	6	1	1								43	43	年末、年度末に児童館の大掃除をする。
おたのしみ	1	18	13	6	1	1								39	39	年末の大掃除後、おたのしみ会でDVDの鑑賞をする。
3年生会議	5			50										50	50	修了制作に向け、3年生で話し合い、制作する。
防災訓練	1	18	13	6	1	1								39	39	非常時に備え、自分の身を守る方法を訓練する。
														0	0	
2) 子ども育成機能														0	0	
入所式(縮小)	1	39		6									70	115	115	入所式後、新入所児・保護者・職員・代表のこどもたちと顔を合わせ、歓迎をする。
新入所歓迎会	1	35	26	13	6	1								81	81	こどもたち一人ひとりが得意なことや好きなことも含め自己紹介を行う。
ステージ発表 参加	3	15	21	13	3	2								54	54	児童館まつり、納涼まつり、ときわの福祉まつりにステージ発表として参加。内容はけん玉ダンス。
館外行事『琵琶湖博物館』	1	30	20	11	3		4	5						73	73	夏休みの行事として博物館に出かける。
手仕事(うちわマーブリング)	4	37	25	14	5	1								82	82	夏休みの行事、手・指先を使って作品作り。和紙にマーブリングで模様をつけ、うちわに貼る。
けん玉検定	6	23	25	13	3	1								65	65	夏休み中の課題としてきたけん玉の成果を発表する。
みんな遊び	1	22	21	11	1	1						1		57	57	ゲームをみんなで楽しむ。
クリスマス会出し物練習	17	397	274	122	26	13								832	832	クリスマス会で行う出し物の練習を班の仲間で行う。
クリスマス会(リハーサル含む)	3	81	57	25	6	1								170	170	体育館にて開催。学童児は、オープニングで、班で協力して考えた出し物を発表し、保護者にも観覧してもらう。その後、工作を全員で行い、エンディングではサンタクラブの出し物を楽しむ。最後にプレゼントをもらう。
駄菓子屋さん(準備含む)	3	32	23	20	2	1								78	78	3年生が駄菓子屋、1、2、4年生が客となって買い物を楽しんだ後、それぞれが買った駄菓子をおやつとして食べる。
伝承あそび「かまぼこ落とし」	2	18	4	6										28	28	お正月に伝承遊び「かまぼこ落とし」を楽しむ。
伝承あそび「羽根つき」	1	3	3	1	1									8	8	お正月に伝承遊び「羽根つき」を楽しむ。
退所記念制作	4	2	4		1									7	7	退所児は記念品の絞り染めTシャツ製作に取り組む。
文集制作	17	37	28	40	2	1								108	108	1、2、4年生は3年生へのメッセージ、3年生は思い出を文集にまとめる。
3年生遠足『御室八十八カ所』	1			9										9	9	例年の合宿が中止となったため、遠足を行う。御室八十八カ所をクイズに答えながら楽しく登山する。下山後はレストランで昼食を食べる。
修了式(縮小)	1	28	18	13	2	1								62	62	今年度で修了することもたちは、証書・記念品・文集・ミニアルバムをもらう。退所する子は絞り染めTシャツをもらう。
誕生祝い													83	83	83	こどもたち一人ひとりの誕生日に保護者、職員からお祝いメッセージのカードと、班の仲間から手紙と誕生日プレゼント(自分で描いたセラミックのコップ)をもらう。
														0	0	
3) 子育て支援活動														0	0	
親睦会	1	25	12	6	2								62	107	107	保護者会主催による、ゆるスポーツを通して親子・保護者同士のつながりをもつきっかけとなる会。
納涼祭り	1	31	18	9	2	1	14	9	37		11		91	223	223	常磐野小学校の体育館にて、夏休み最後の思い出として実施。学童のステージ発表や、あそびを中心としたコーナー展開を行う。エンディングには、嵯峨野高校の吹奏楽部による演奏を依頼し楽しんだ。
親子お茶会	1	3	1	1								2	6	13	13	地域にお住まいの茶道の先生を講師に招き、親子で茶道の体験をする。

懇談会	9	5	9	1	3							237	255	時には、子どもたちの活動の様子の写真を使用しながら学童の生活を知らせ、家庭の様子など話し合う。テーマを決め懇談する。
個人懇談会	4											47	47	懇談会だけでは伝えきれないことや個人の様子を職員間でまとめ、保護者に伝える。
新入所オリエンテーション	7	11	8		4							96	119	新しく入所するこどもの保護者対象に、学童の生活・ルール等を話す。

*注1 行事名は、(1)生活援助機能 (2)子ども育成機能 (3)子育て支援機能に分類して記入すること
 *注2 2クラス以上の館所で、クラスごとで異なる取組・行事を実施した場合は、行事名と併せて、クラス名を記入すること